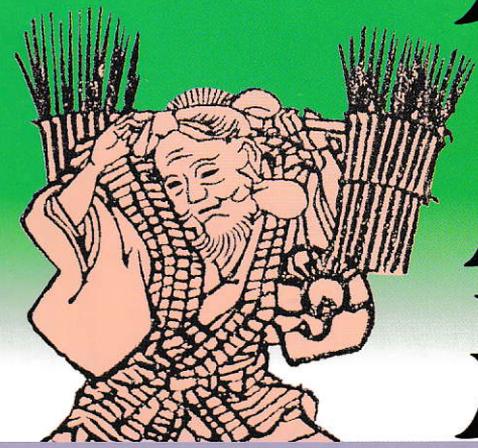
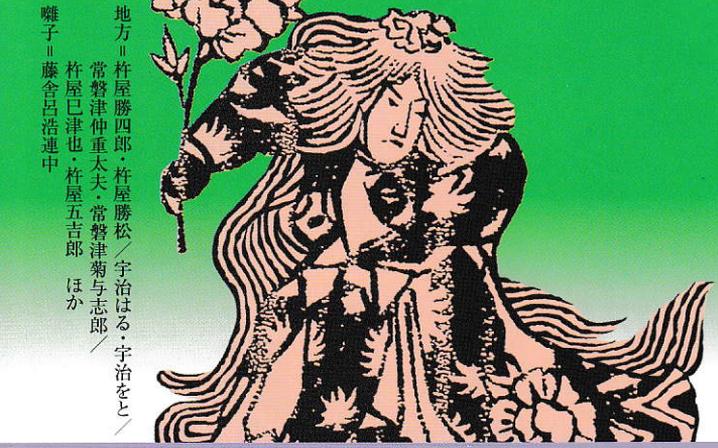
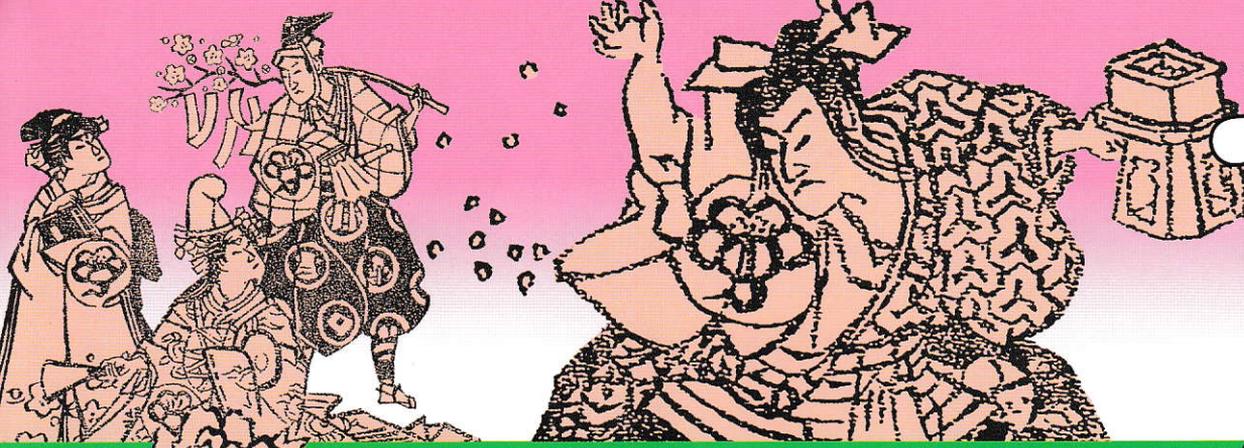


平成30年5月舞踊公演

変化舞踊

ぶよう



染分四季彩

〔冬〕長唄 雪傾城

傾城
花柳笹公
若柳薫子

〔春〕中節 賤機帯

大磯の八雲
藤蔭静枝
五條詠佳

〔夏〕常磐津 夕月船頭

船頭
藤間恵都子

〔秋〕長唄 俄獅子

芸者
藤蔭静枝・藤間恵都子
花柳笹公
五條詠佳・若柳薫子

七重咲浪花土産

織田敏二監修 鈴木英二補綴
西川箕乃助・花柳基振付 藤舎呂英作調

長唄 浮船の浅妻

遊女
振袖娘
国奴
桃太郎
獅子の精

長唄 梅枝の文売

遊女
文売
国奴
獅子の精

常磐津 深窓の振袖

遊女
文売
国奴
獅子の精

常磐津 供婦の国奴

遊女
文売
国奴
獅子の精

長唄 雨舎の瘤翁

遊女
文売
国奴
獅子の精

長唄 立春の豆打

遊女
文売
国奴
獅子の精

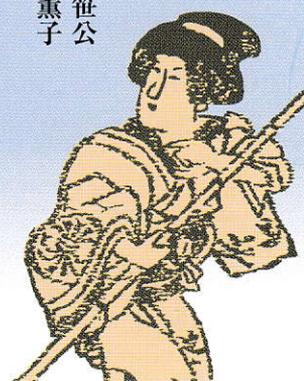
長唄 石橋の獅子

遊女
文売
国奴
獅子の精



平成30年 5月26日【土】午後2時開演
【入場料金・金庫】1等A席 8,500円 1等B席 5,100円
2等席 3,500円 3等席 1,800円 ※障害者の方は2割引です。
【電話】国立劇場チケットセンター(午前10時~午後6時) 0570-07-9900
03-3230-3000(一部IP電話等) 国立劇場 Q検索

東京・半蔵門 国立劇場 大劇場
東京都千代田区準町4-1 電話03-3265-7411(代表) http://www.ntj.jac.go.jp/ beyond 2020



変化舞踊



花柳基 (撮影: 篠山紀信) 西川箕乃助 (撮影: 篠山紀信) 藤間恵都子 五條詠佳 藤蔭静枝 若柳薫子 花柳笹公



西川扇左衛門 西川扇衛仁 西川扇重郎 西川尚 西川佳 若柳里次朗 花柳寿太郎

染分四季彩

四季の情趣を紡ぐ名作で構成された
本公演オリジナルの変化舞踊!

春夏秋冬の多彩で趣溢れる風物や情景は、
数々の変化舞踊のモチーフとなりました。
公演の前半は、「染分四季彩」と題し、四季に
ちなむ名作を、**花柳笹公・若柳薫子、藤蔭静枝、
五條詠佳、藤間恵都子**(出演順)と、ベテラン
から若手まで五人の実力派により、本公演
オリジナルの変化舞踊に仕立てた構成でご覧
いただきます。

雪景色に浮かび上がる艶やかな傾城の姿
が印象的な「雪傾城」から、さらわれた我が
子を探し求めて隅田川べりにやって来た母
親の一念な心情をしっかりと描く「賤機帯」、
女船頭の粋な佇まいに爽やかな江戸の風情
が漂う「夕月船頭」と続きます。そして江戸・
吉原の秋を飾る祭りである吉原俄を題材と
する「俄獅子」では全員が芸者、半玉となっ
て再び登場、勢揃いして華やかに締めくく
ります。

四季折々の情趣が映える舞台を、そして
五人の舞踊家の艶やかな競演をたっぷりと
お楽しみください。

七重咲浪花土産

こぶとり爺さん?! 豆まきする桃太郎?!
百七十二年ぶりの復活となる七変化!

後半は、弘化三年(一八四六)三月、尾上多見蔵
により江戸・中村座で初演された七変化舞
踊の復活上演です。西川箕乃助、花柳基と、
日本舞踊界でもっとも充実した舞台を見せ
る二人により、装いも新たに現代に甦ります。
二人は琵琶湖に佇む遊女、代筆した恋文を
売り歩く文売、国許へ帰る国奴、稽古帰りの
あどけない娘(振袖娘)、昔話のこぶとり爺さ
ん(狸翁)に桃太郎、そして勇壮な毛振りを見
せる獅子の精と、多彩なキャラクターたちを
ときに入れ替わって、ときに競い合うように
して踊り抜き、舞台もスピーディに展開しま
す。そして鬼や桃太郎のお供として賑やか
に、楽しくこの作品を彩るのは**花柳寿太郎、
若柳里次朗、西川扇重郎、西川扇衛仁、
西川扇左衛門**と、気鋭の花形舞踊家です。
また、「供婦の国奴」では**西川佳、西川尚**が父・
西川箕乃助と共演します。

一人の踊り手がさまざまな役柄を踊り分けて
いく「変化舞踊」。歌舞伎舞踊の一形式として江
戸中期を中心に盛んに上演され、多彩なキャラ
クターを描く踊りの技が観客を魅了してきまし
た。この公演では、役ごとに表情を変える踊り手
の身体や踊り分けの妙を通じて、変化舞踊の、
そして日本舞踊の魅力をお楽しみいただけます。

変化舞踊の醍醐味をご堪能いただけるよ
う、趣向を凝らして臨む百七十二年ぶりの復
活にどうぞご期待ください。



平成30年 **5月26日【土】** 午後2時開演
【入場料金】1等A席8,500円 1等B席5,100円 2等席3,500円 3等席1,800円
(学生=6,000円) (学生=3,600円) (学生=2,500円) (学生=1,300円)

*障害者の方は2割引です。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。

●予約開始=3月11日(日)午前10時~
【電話】国立劇場チケットセンター(午前10時~午後6時)
0570-07-9900 03-3230-3000
(一部IP電話等)
【インターネット】
パソコン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/>
スマートフォン <http://ticket.ntj.jac.go.jp/m>



●窓口販売開始=3月12日(月)(チケット売場 午前10時~午後6時) ※窓口販売用に別枠での取り置きはございません。
●プレイガイド チケットぴあ 0570-02-9999 [PC・携帯] <http://pia.jp/>

国立劇場 託児室
この公演は託児室をご利用いただけます。ご利用には事前の予約が必要です。(定員になり次第、締め切らせていただきます。)
ご予約・お問い合わせ: イベント託児・マザーズ 0120-788-222 <http://www.mothers-inc.co.jp/>
【受付時間】平日午前10時~12時、午後1時~5時 料金: [0歳~1歳]2,000円/[2歳~12歳]1,000円

- 地下鉄 半蔵門線(半蔵門駅)6番出口(エスカレーター、エレベーターあり)・1番出口徒歩5分
有楽町線(半蔵門駅)・南北線(永田町駅)4番出口徒歩8分・2番出口徒歩10分
- 都バス 都03(晴海埠頭一銀座四丁目一四谷駅)三宅坂徒歩1分(本数僅少)
都75(新宿駅西口一河田町一四谷駅前一三宅坂)三宅坂徒歩1分(本数僅少)
- 劇場バス 終演時に運行(東京行き・新宿行き)(有料)
- 駐車場 取寄台数に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用ください。

東京・半蔵門
国立劇場
大劇場
東京都千代田区幸町4-1
電話 03-3265-7411 (代表)
<http://www.ntj.jac.go.jp/>

あぜくら会

入会受付中! >>> チケットの先行予約・割引・イベント・会報誌などの特典満載!
お問い合わせはあぜくら会事務局 03-3264-0555(平日10:00~17:00/土・日・祝日・年末年始:7/1)まで
詳しくはあぜくら会HP <http://www.ntj.jac.go.jp/member>